

県会議員 奥村のり子 の  
読者ニュース

2015年4月19日 第170号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



おくむらさん4位当選  
2議席へ僅かに及ばず

いつせい地方選挙の前半の県議選が終りました。読者の皆さんから大きなご支援を頂き奥村規子氏は4位で当選することが出来ました。しかし新人の加藤直人氏は最下位当選者と240票差で惜敗し、目標とした2議席に至りませんでした。前回より得票では1388票増でしたが大激戦を制する力不足を痛感する結果となりました。

日本共産党に支持を寄せていただいた有権者のみなさん、党の躍進のために日夜を分かたぬ奮闘を頂いた支持者、後援会員、党員のみなさん心からのお礼を申し上げます。

今回、県議選が実施された41道府県で共産党は31議席増で、議席が空白だった7県すべてで議席確保し、史上初の全都道府県に党議員が存在する画期的前進となりました。こうした経験に学び、この和歌山市で次回こそ複数議席実現へ不断に努力してまいります。

最後に19日告示の市議選で6人全員の当選を勝ち取るため、引き続き大きなご支援を心よりお願い致します。(編集室)

CSMの週刊誌(主なもの)

- 4月17日 早朝宣伝 訪問
- 18日 街頭宣伝 訪問
- 19日 市議選告示
- 20日 投票日

◆市会議員選挙に集中するため次号の当ニュースはお休みします。  
5月3日付けより再開します。



当選の報に  
みんなで「万  
歳」です

「戦争できる国」づくりへ批判高まる

大きなご声援、ありがとうございました

読者のみなさんのお力で、3たび県議会に送っていた「戦争できる国」にしようだきました。選挙期間中は今までになく、たくさんのご声援を頂戴しました。特に、路地に入ると行き交う方や、窓から手をふっての激励を受け最後まで元気にたたかうことができたことに感謝申し上げます。候補者カーで回っているところをわざわざ、自転車で追いかけて来られて、「戦争は絶対反対してね、戦争は絶対ダメ、がんばって」と強い思いが伝わってきました。また、子どもたちが遊んでいる公園では街頭演説を終える時、そばに来て、「いのちを大切にするといいことですね」と声をかけてくれたり、駅頭では登校中の子どもが立ち止まって、「おくむらさんががんばって下さい」と言われ、ビックリしました。「戦争できる国」にしようとしている安倍政権への危機感の広がりを感じました。「消費税をやめてほしい」という声もありました。私は街頭から、「若者を2度と戦地に送らない、血を流させない」決意を訴えました。「原発再稼働は許さない」「ことや「消費税の増税ではない社会保障の充実」を訴えました。多くの方に共感していただけたことに感激しています。引き続き後半戦の市会議員選挙で全員当選を勝ち取るため、全力で県議選以上にがんばります。ご支援の輪を広げに、広げて下さいますようよろしくお願い致します。(奥村のり子)

市議選6議席確保を!

県会議員選挙では、奥村のり子県会議員の3選を見事果たしました。全国的に日本共産党の県議員は全ての道府県で議席を得ることができました。和歌山県では1議席を失う結果となりましたが、和歌山市では投票率が下がるなか前回得票を110%増と政党では唯一得票を増加させました。

日本を戦争する国へとひた走る自民党と公明党は前回比90%へと低迷しました。平和憲法を守り、「戦争立法」制定を許さず、平和の守り手としての日本共産党への期待が膨らんでいることを示す前半戦となりました。

いよいよ後半戦の市議選です。和歌山市議会での6議席の確保は至上命題です。市議選は今までの選挙とは異なり維新、次世代の党など「日本会議系」の台頭勢力一

右派勢力の台頭を許さず平和の砦となる市議会を



私の議席を何とでもさかぐち多美子さんへ! (渡辺)

党市議会議員  
渡辺 忠広



リレートーク Relay talk